

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 034	提案機関名 農業技術センター三浦半島地区事務所
要望問題名 キャベツ菌核病登録薬剤の拡大について	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 平成23年度産のキャベツで、菌核病が多発し対策検討が急務となっている。 すでに菌核の土壌中の密度が高まっているため、気象条件、土壌条件が揃えば発病してしまう。このため、土壌中の菌核密度を下げるような対策が必要である。 そこで、このような対策に利用できる薬剤の新規登録、あるいは既登録薬剤の使用時期、使用方法の登録拡大の可能性等に関する研究をお願いしたい。 キャベツ作付面積 三浦市759ha 横須賀市355ha(平成22年度野菜生産出荷統計)	
解決希望年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター <input type="checkbox"/> 畜産技術所 <input type="checkbox"/> 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名 (、 、 の場合) 病害虫防除・予察技術の開発及び改善 かながわ特産品等の生産に必要な農薬の実用化に関する研究			
対応の内容等 三浦半島地域におけるキャベツ栽培後の片付け方法に画期的な改善策が考案されない限り、菌核病菌の土壌中の密度が高く維持され続けると考えられ、今後の当地域における対策は必要と考えます。栽培後に菌核病の土壌中への残存を減らすために使用する農薬登録がなく、土壌への処理は作付前に土壌くん蒸剤や粉剤がいくつかありますが、根本的な解決にはなりがたいと思われま。一方、現在、生物農薬としてミニタンWGが作付前の処理で登録がありますが、本剤を作付後残さの土壌への耕耘処理時に施用し、継続的に使用することで長期的には土壌中の本菌密度を減らすことができると考えられています。そこで、本農薬の栽培後処理における効果試験を実施して効果を確認するとともに、農薬メーカーの協力を得て使用時期や方法をかえた農薬登録の促進を行います。			
解決予定年限	1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 2～3年以内 <input type="checkbox"/> 4～5年以内 <input type="checkbox"/> 5～10年以内 <input type="checkbox"/>		
備考			